

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 9

H28. 9. 23

発行責任者 校長 橋本一弥



がんばった陸上交歓会

9月16日 於 町営グラウンド

夏休み後半から本格的に練習に取り組み、5・6年の児童が交歓会に臨みました。リレーや2種目まで出場できる個人種目で、練習の成果を精一杯発揮しました。多くの児童が自己ベストを出すことができ、念願の入賞を果たした児童も出ました。がんばっている友だちを心から応援する姿、がんばったことを互いに讃え合う姿がみられたこともうれしく思います。



入賞の記録

※ 敬称略 個人種目の記録は1位のみ掲載しました。

〈リレー〉

6年女子 4×100m	第5位 (1分10秒2)	根本 みな・白岩 愛萌・三本木舞奈・大橋 優菜
6年男子 4×100m	第4位 (1分04秒0)	太田 歩夢・過足 一輝・宗像 洸樹・鈴木 陸士

〈個人種目〉

6年女子	ソフトボール投げ	第1位	白岩 愛萌	40.09m			
	80mハードル	第6位	大橋 優菜		走り幅跳び	第4位	根本 みな
6年男子	80mハードル	第1位	鈴木 陸士	14秒2	同	第4位	過足 一輝
	走り高跳び	第1位	宗像 洸樹	124cm	同	第2位	八木沼奏登
	100m走	第8位	鈴木 陸士		走り幅跳び	第6位	太田 歩夢
5年女子	800m走	第2位	柳沼 空花				
5年男子	走り幅跳び	第1位	橋本 隼	324cm	100m走	第4位	橋本 隼

校内水泳記録会

ご多用の中、応援をありがとうございました。それぞれの学年に応じた泳力を身に付けてしめくることができました。

夏季休業中の指導のご支援にも重ねて御礼申し上げます。



低学年 9月1日(木)



中学年 9月5日(月)

田村地区児童理科作品展に出品

※敬称略

特選(県へ) 1年 柳沼 菜乃「かげのひみつ」
特選 4年 宗像珠稀子「尿素で結晶を作ってみよう」
特選 4年 三浦 柊明「氷がとけにくくなるカバーを作ろう」
準特選 4年 過足 愛菜「月の観察」
入選 橋本侑芽、橋本紗耶香、過足春輝、影山日向子
(計21名) 八木沼莉桜菜、大橋愛菜、橋本真央、鈴木杏彩
木村もえ、宗像俐玖、渡邊皓哉、橋本真歩
柳沼空花、鈴木貴博、佐藤心結、影山紗菜
橋本 隼、村上滉輔、大橋優菜、安部美里、宗像洗樹



～夏休みの家庭のご協力で心より感謝申し上げます。学校の昇降口付近に展示していますのでぜひご覧ください。～

感謝の気持ちを歌声で 地区敬老会 9月18日(日)

中郷地区敬老会がこのほど本校体育館で開催されました。あいにくの雨になりましたが、地区内から150名を超える方々がおいでになりました。

中郷の児童のよさである思いやりや奉仕の心は、地域のみなさんが長い年月をかけて築いてきた大切な贈り物です。日頃から家庭や地域で接する中で自然と身につけ、良い伝統になってることをとてもありがたく思います。

当日は、感謝の気持ちを込めて全校児童で愛唱歌を歌ってお祝いしました。ますますのご長寿をお祈りしています。

曲名 「すてきな友達」「いただきます」



子どもをたくましく育てるために その6 上手に褒める、叱る

子どもを育てて行く上でぶつかる壁の一つに褒め方やしかり方があると思います。いろいろと本も出されているように、うまく褒めたり叱ったりすることはそれだけ難しいことなのだと思います。甘くなれば子どもはすぐにだれてしまいますし、逆に、厳しすぎれば萎縮してしまいます。褒める、叱るにはどんなポイントがあるのでしょうか。

- ① がんばったところを具体的に褒める。
- ② 機会を逸することなくタイムリーに褒める。

褒めることについて異論はないと思います。褒める内容が具体的にできればなるほど、「そういうところを見てくれたのか」という満足感や、新たな意欲につながります。

では、叱り方のポイントはどんなところでしょうか。避けたいのは、「うちのお母さんはいつもおこってる」というような状況になることです。感情にまかせて闇雲に怒ってばかりいると、子どもは聞く耳を持たなくなり、いいことはないようです。学級担任をしていた時、私は次のように決めていました。

私が子どもを叱るとき

- ① 危険なことをした時
- ② 他の人に迷惑をかけた時
- ③ 3回注意しても改善しようとしないうちの時

これを年度のはじめに子どもたちにしっかり伝えると共に、学級だよりなどで保護者のみなさんにもお伝えして理解と協力を得ながら進めました。叱る場面をはっきりさせたことで、子どももよいことや悪いことの基準がはっきりしたようで、叱られた子どもも納得がいくようになりました。また、叱るべき場が私自身もはっきりして、かえって一人一人の良さに目が行くようになりました。

実践してみると、①と②は比較的わかりやすいのですが、③が意外と難しいです。しかし、③をうまくやることで様々な変化が生まれました。一つは、失敗を恐れずにがんばろうといろいろなことに挑戦する子どもが増えたことです。更には、同じ失敗を何回も重ねることはいけないのだという意識づけにつながり、注意されたことをそのままにして何もしないというような子どもが減ってきたことです。

仕事を通して学んだこのことを自宅の子育てでも生かしてみました。家庭教育でも十分に通じることだと実感できました。皆様の子育ての一助になれば幸いです。